奥州

広報おうしゅう

2012
Vol.75

5



２年ぶりのはやし屋台

日高火防祭
はやし屋台相打ち

市総合計画後期計画の概要

CONTENTS

2　情熱の奥州人
4　**市総合計画後期計画の概要**
6　市官民協働型政策提言組織からの第２次提言
7　「春の叙勲・褒章」「危険業務従事者叙勲」　～栄誉に喜びの声～
8　在宅介護支援センターの事業紹介
9　オープンガーデンへ行こう
　　地域づくりに宝くじ助成
10　0.4（オーシュウ）％支援事業に投票を
11　チャレンジデー 2012
12　奥州の春祭りグラフ
14　結－ゆい－　～ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～
15　市の出来事から
16　まちの話題
18　つながれ 広がれ ＮＰＯの輪
20　子そだて広場
　　市長コラム「おうしゅう羅針盤」
21　消費生活相談
　　わが家のアイドル
　　子ども喜ぶ人気メニュー
22　キラリ人輝く
　　夢トーク
23　クラブ紹介
　　ぽんたのつぶやき
24　くらしの情報
28　奥州遺産

〈今月の表紙〉



満開の桜のもと、日高火防祭が４月 28 日と 29 日、同実行委員会の主催により盛大に開催されました。

昨年は震災の影響で、はやし屋台の運行は２年ぶり。纏振りや神輿の練り歩き、42 歳厄年連「亥仁会」と 25 歳厄年連「颯龍幻」の演舞が祭りを盛り上げました。

観客数は主催者発表で９万 7000 人。天候にも恵まれ、例年以上のにぎわいとなりました。

情熱の奥州人 ⑳

使う楽しみを求め 作り手の個性を生かす陶芸

南洞　史郎さん（57歳）
＝衣川区陣場下＝



会話を楽しみながら陶芸を教える史郎さん

衣川荘の近くで、日用雑器を中心とした陶器を生み出す阿都麻焼。窯元の南洞史郎さんは、誰にも邪魔されることなく一人で打ち込める仕事がしたいと、陶芸の世界に踏み出した。

横浜の工芸専門学校卒業後、絵柄の美しさで知られる石川県九谷焼の窯元で修行。オブジェから雑器まで、さまざまな技術を学んだ。５年間の修行を積み故郷衣川へＵターン。27歳の若さで念願の窯を開いた。

地元の産業まつりのほか、展示会や陶器市など多方面に出品。「みやぎ村田町・蔵の陶器市」には、６年連続で参加している。昨年は、市の敬老会で米寿の記念品にも採用された。

源平盛衰記に登場する美しい女性、袈裟御前の幼名・阿都麻。「衣川にゆかりがあり、その響きにひかれ名づけた」と命名の由来を明かす。

温厚で誠実な史郎さん。主催する陶芸教室では20人が学ぶ。「陶芸で多くの人に出会い、この世界を志したきっかけは、全て裏目となった」と穏やかな笑みを見せる。教室では、手びねりの陶芸を好んで指導。ろくろと違い、形状が微妙に変わるのが特徴だ。その特徴を生かし、作り手の個性を引き出す指導を心掛ける。

使い勝手だけでなく、面白みのある陶器作りが信条の史郎さん。笑顔を絶やさず、今日も生徒と共に新た陶芸の可能性を探し続ける。



なんどう・しろう◎昭和30年衣川区岩の上生まれ。陶芸家。阿都麻焼を開窯。現住所に窯を開き陶芸教室を主催。家族は、妻と長男、次男、長女

―― 総合計画後期計画（平成24年度～28年度）を策定 ――

『地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち奥州市』を目指して

市は、総合計画基本構想と後期基本計画をことし3月に決定しました。この計画は、平成24年度から28年度までの5年間の市政運営の方向性を決める大事なもので、その内容をお知らせし、市民の皆さんとのパートナーシップにより、希望あるまちづくりに取り組みます。

19年度に策定した総合計画前期計画は、市町村合併の高揚感の中で決定し、社会資本整備や教育福祉政策の充実など、行政サービスの拡大路線を感じさせるものでした。市町村合併は本来、従前の行政サービスを維持しながら逼迫する財政の均衡を図るため、有利な合併特例措置を活用するためのものです。その有利な点だけにとらわれ、目的達成に向けて解決すべき課題を先送りすることもありました。合併時の約束である新市建設計画を実施しながらも、現状を精査し、現実的な路線に見直す必要があります。

計画は、今後5年間の市政運営の道標として、市の財政状況は厳しいですが、夢や希望を抱くことのできるまちづくりの方向を示すものです。

総合計画の構成

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3部で構成しています。

基本構想は、「まちづくりの基本的な考え方」と目標とする「めざすべき都市像」を、基本計画は、基本構想に掲げた目標を実現する手段となる政策や施策、その具体的な目標を、実施計画は、基本計画に設定した目標を実現する事務や事業について定めています。

基本構想と基本計画は、計画期間中の見直しは行いませんが、実施計画は予算と連動するため、社会情勢などを考慮し、毎年度3年分の見直しを重ねながら進めます。

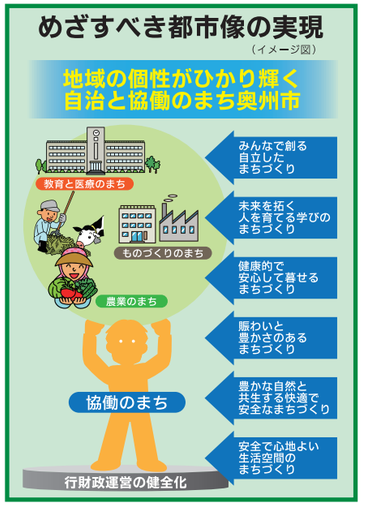
総合計画の特徴

○市民憲章の理念

まちづくりの基本的な考え方として、市民憲章を位置づけました。市民憲章には、長期的なまちづくりの理念を掲げており、市の目指す普遍的なまちづくりの方向として明確にしています。今回の計画により、今まで以上に市民憲章の理念の普及啓発を進めます。

○めざすべき都市像

めざすべき都市像に、4つのイメージを挙げています。右図に示すように、4つは並列ではありません。「協働のまち」を、そのほかの3つの都市像を構築するための下支え、根幹的な役割を果たす手段としています。協働がこれからのまちづくりに重要な政策視点であり、市民とのパートナーシップの構築に、大きな期待を寄せています。



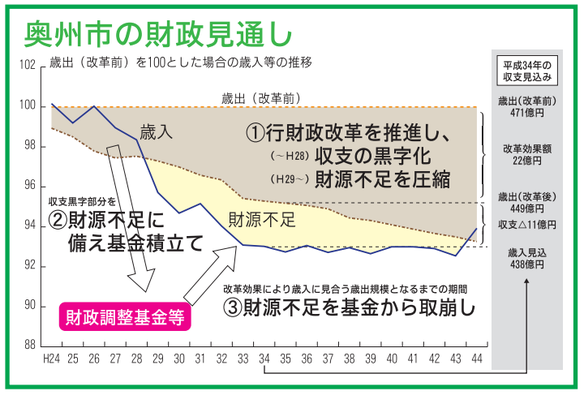
○行財政運営の健全化

まちづくりを推進するために、行財政基盤を確固たるものとする「行財政運営の健全化」に不退転の決意で取り組むこととしています。

総数としての人口減少、少子高齢化が避けられない状況ですが、市町村合併の恩恵を受けることができる期間も間もなく終了し、1自治体として自立しなければなりません。その中で、市の財政見通しをグラフで示したものが次ページ左上図になります。行財政改革の必要性は明らかであり、それを受けて実施計画を構築しています。

○未来への希望

希望あるまちづくりとして、次ページ左下図に表すとおり、広域連携プロジェクト「ＩＬＣ東北誘致プロジェクト」と、市政発展のための3つのプロジェクトを掲げています。5年の計画期間中に大きな成果をあげることは難しいものですが、将来に向けて期待が持てるものです。



めざすべき都市像のイメージ

○自立する地域自治

「協働のまち」

奥州市自治基本条例や奥州市市民参画条例の趣旨に基づき、市民がまちづくりに主体的に参画できる基盤、機運づくりに取り組み、市民と行政の協働によるまちづくりを進めます。

また、「地区センター構想」に基づき、地域住民が主体的にコミュニティ活動を進め、地域の自主性・自立性を発揮できる、活力のある地域コミュニティの確立を目指します。

○高度な水準をめざす

「教育と医療のまち」

「学ぶことが奥州市の伝統であり未来である」という理念に基づき、市民一人一人が自ら学び、その英知を結集して市の発展を目指します。

特に国際リニアコライダーを中核施設とする、国際素粒子・エネルギー研究拠点の形成も見据えて教育環境を充実し、最先端産業を展望した次世代を担う人づくりを進めます。

また、安心して市民が暮らすため、公立病院と民間病院との連携を強化します。医師確保による医療体制を確立し、高度医療の環境整備に向けた取り組みを進めます。

○地域が支え育てる

「農業のまち」

農村部と都市部、農・商・工業の地域特性を生かしながら、生産者と消費者が協力しあい、農畜産物の直接販売、農商工連携による二次産品の販売と消費を目指します。地域内における農畜産物の循環により自給率を高める「地域自給」を進め、基幹産業である農業の経営安定と就業支援を図ります。

○地域の人材と資源を活かす

「ものづくりのまち」

活力あるまちを目指し、元気あふれる有能で個性豊かな人材や企業を育てるまちづくりを進めます。

自動車産業の東北拠点化の動きや、県の復興重点事業に連動し、関連産業を含めた新規の設備投資や移転立地、起業などを支援します。さらに、地域開発による雇用の創出に重点的に取り組みます。

目標実現のための行動指針

今後の財政事情などを勘案して、社会資本整備などハード事業への投資を抑制しつつ、行政サービス水準の維持向上を目指すため、行政の覚悟を明らかにしています。

(1)市役所を「ダウンサイジング」する

(2)市役所は「変革する」「挑戦する」「集中する」「協働する」で行動する

(3)再生のカギは民力である「パートナーシップ型まちづくり」を進める

(4)次代の主役を「公」から「民」へ変える

(5)行政サービスに見合う住民負担を提案する

(6)広域的連携を推進する

(7)総合的、弾力的に計画を推進する

地方自治体にとって難しい舵取りを迫られる中、住民が夢と希望を抱き続けられるように、行政の役割を果たす決意の計画です。行政だけでまちづくりを進めることは不可能であり、市民のご協力とご支援をお願いします。また、計画に照らした検証や評価による助言や提言を、ぜひお寄せください。

市政発展のための戦略プロジェクト

子育て環境ナンバーワンプロジェクト
- 全ての子育て家庭への支援
- 仕事と子育てが両立できる環境整備
- 子どもの学びと育ちの支援
- 安全に子育てできる環境整備

おうしゅう農畜産ブランドオンリーワンプロジェクト
- 農畜産物ブランド力の強化
- おうしゅう農業の６次産業化
- 農畜産物販売におけるPR強化

興業振興プロジェクト
- 自動車関連企業や半導体関連などの誘致強化
- 企業の新分野企業への支援
- 事業補助や税制優遇による支援
- 人材育成と企業への人材供給支援

広域連携プロジェクト

ILC東北誘致プロジェクト
- 誘致に向けた情報収集
- 誘致に向けた普及啓発活動
- 誘致に向けた国への要望活動

※総合計画は現在、冊子で提供していません。市ホームページに電子ファイルで掲載しています。（URL：http://www.city.oshu.iwate.jp/）

市官民協働型政策提言組織からの第2次提言

奥州市の医療の充実について

市が設置した奥州市官民協働型政策提言組織（シンクタンク）から、平成24年3月30日に第2次提言の提出がありました。今回の提言は、地域医療の充実に向けたものとなっています。市は、今回の提言を踏まえ、急性期医療の確保と地域医療の充実に向けて取り組みます。

■問い合わせ＝本庁総務企画部行財政改革推進室（内線434）

市民が安心して暮らせる地域医療を維持するため、市立医療機関のあり方や地域医療充実の方策について提言がありました。

この提言は、民間の視点による検討を市からお願いしたもので、提言の概要は次のとおりです。

■市民が安心して暮らせる医療提供体制の構築に向けた提言

Ⅰ 急性期医療体制の確保こそ急務

急性期医療は①総合性②専門性③救急の3つの要素を担う必要があるが、昨今の医師およびコメディカル[※1]不足で医療崩壊時代ともいわれる現状では、すべての要素を十分に補えるのは大学病院と大病院のみであり、急性期患者のたらいまわしなどが新聞などをにぎわしている。

市内においても、現在産科、婦人科の2次救急の受け入れ病院はなく、脳外科も胆沢病院が常勤医1人体制となり、急性期の患者の受け入れは困難を極めている。さらに小児科は胆沢病院、水沢病院に常勤の医師がおり粉骨砕身の働きをしているが、いかんせん人手不足にはかなわず、夜間の数時間ではあるが医師会に一次診療を、二次診療は市外の医療機関に委ねざるを得ない状況となっている。

Ⅱ 江刺5診療所は廃院を

市の公立病院および診療所については、まず常勤医が不在の江刺の5診療所は、施設の老朽化も進み、また、月2回程度の診療で1回当たり6、7人程度と利用者も年々減少していることから、利用者の他の医療機関への交通手段などを確保した上で、廃院すべきと提案する。



Ⅲ 市立医療施設の効率的運営体制整備を

他の2病院[※2]、3診療所[※3]に関しては現在それぞれが独立した形で運営が行われているが、今の状態ではこれらの施設で急性期医療の全てを賄いきれるものではない。胆沢病院と連携を保ち、お互いの欠けている診療分野を補いながら市の急性期医療を行ってもらいたいと思う。

しかしながら、一般会計からの繰り入れが、平成23年度決算見込みで5施設合わせておよそ20億円に達している。これが10年続けば200億円に及ぶ。財政改革が必要な奥州市としてはこの費用の削減を行い、急性期医療の確保に使用する必要がある。今のように5施設が別々に運営されるのではなく、ネットワークを構築し、医療資源の有効かつ効率的な運営体制を作ってもらいたい。

Ⅳ 指定管理も視野に検討を

全国的に医師不足と言われている現状においては、市単独では求められる急性期医療を維持するための人材の確保は至難の業と考える。市民の安全安心を守り将来に向けた急性期医療の充実を図るため、コンサルタントなどを入れ、民間のノウハウも活用しながら、全国展開をしているような医療機関への指定管理などを視野に入れた検討を行うべきと提案する。

若者が住みたいと思う夢のある奥州市を作り、安心して住み続けてもらうために急性期医療の確保は必須の条件と考え、地域医療に係る提言とする。

平成24年3月30日

奥州市官民協働型政策提言組織

政策アドバイザー

代表　井筒　岳

副代表　田島平伸

木下幸雄

鎌田卓也

柳田善雄

※1…医療従事者　※2…総合水沢病院と国保まごころ病院　※3…国保前沢診療所、国保衣川診療所および国保小児夜間診療所

叙勲 褒章

「春の叙勲・褒章」「危険業務従事者叙勲」―栄誉に喜びの声

顕著な功績を挙げた人などに贈られる春の叙勲・褒章と、警察官など危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。市内からは、合わせて9人がその栄誉に輝いています。受章おめでとうございました。



旭日双光章（保健衛生功労）
小野田　睦夫さん（72）
＝水沢区福吉町＝



昭和38年、都内の歯科医院に就職。41年に地元に戻り家業の歯科医院を継ぎました。学校歯科医師として、長きにわたり検診活動に貢献されました。金ケ崎町出身。

旭日双光章（警察管理運営功労）
佐藤　ソノ子さん（74）
＝水沢区大手町＝



平成13年、県公安委員に任命され、7年4カ月委員を務めました。通算で3年間委員長の職に就き、地域に根ざした防犯活動の普及に尽力されました。

瑞宝小綬章（教育功労）
阿部　和司さん（77）
＝江刺区稲瀬字大迫＝



乳業会社勤務を経て昭和34年に教職に就きました。農業高校などで家畜の繁殖生理学の指導・研究に尽力され、平成8年から旧江刺市の教育委員長を務めました。

瑞宝双光章（教育功労）
阿部　信一さん（72）
＝水沢区神明町＝



昭和37年に教職に就き、藤里小学校などに勤務。平成5年には衣川小学校で校長を務めました。「個性を生かし伸び伸び育てる」がモットー。江刺区出身。

瑞宝双光章（消防功労）
佐々木　金男さん（69）
＝衣川区百ヶ袋＝



昭和39年、旧衣川村消防団に入団。平成12年から21年まで旧衣川村・市衣川区消防団団長を務めました。「消防はチームプレー」を信条に消防活動に尽力されました。

黄綬褒章（業務精励）（建築板金工・卓越技能）
鈴木　正二さん（69）
＝前沢区字赤面＝



昭和33年、板金職人に弟子入りし、東京修行を経て30歳で独立。「修復依頼のない丁寧な仕事」を信条に、県内外100カ所以上寺社の屋根を施工。一関市八幡町出身。

瑞宝双光章（消防功労）
千葉　成巳（しげみ）さん（67）
＝水沢区姉体町字水ノ口前＝



昭和38年、消防士として東京消防庁に入庁。昭和47年地元に戻り、胆沢地区消防組合に入署しました。住宅密集地の経験を生かし、地域の防災活動に貢献されました。

瑞宝双光章（警察功労）
畠山　洋さん（70）
＝水沢区字川端＝



昭和37年、県警に採用されて40年間勤務。27年間は交通警察で活躍し「逃げない、逃がさない」を信念に交通事故防止に尽力されました。一関市千厩町出身。

瑞宝双光章（消防功労）
本明　司さん（72）
＝水沢区佐倉河字外和田＝



昭和39年、旧水沢市消防士として就職。「初期消火が重要」をモットーに訓練を積みました。旅館などの防火対象物の点検活動を普及し、火災予防に尽力されました。



～ 2012 年の公開が始まりました ～

オープンガーデンへ行こう

緑が目に鮮やかな季節になりました。見ごろを迎えた花々を訪ねて、市内の庭巡りをしてみませんか。「オープンガーデンおうしゅうの会」では、花と緑に囲まれた潤いのあるまちづくりを目指し、会員が丹精込めて作り上げた美しい庭を公開しています。皆さんの訪問をお待ちしています。

■**問い合わせ**　本庁都市計画課公園緑地係（内線 521）

オープンガーデンおうしゅうの会が行う「オープンガーデン」は、ことしで５回目を迎えます。訪問者が年々増え、県外や海外からもお客さまが訪れる本市のオープンガーデン。会員が丹精込めたこだわりの庭 23 カ所を公開しています。花や庭づくりについてお話しながら、庭巡りをしてみませんか。

■**公開期間**　４月から始まり、５、６月が中心です。会員によって期間が異なりますので、詳しくは「オープンガーデンおうしゅうマップ」をご覧ください。

■**マップ配布場所**　本庁都市計画課、各総合支所地域整備課、水沢地域交流館アスピア

※市ホームページにも掲載しています。検索欄にオープンガーデンと入力して検索してください







◇オープンガーデンを訪れるときのマナー◇

○公開日と時間を守る
○事前に連絡が必要な庭は、必ず連絡して訪問する
○訪問の際にはあいさつする
○花や種の摘み取り、枝折りをしない
○花壇内や家屋のプライベート部分に立ち入らない
○トイレは事前に済ませておく
○路上駐車や大声の会話で近所に迷惑をかけない
※草花はお分けできません

地域づくりに宝くじ助成

㈶自治総合センターでは、宝くじの収益金を活用し、住民のコミュニティー活動を助成する事業を行っています。この事業で平成 23 年度に整備した内容をご紹介します。

■**問い合わせ**　本庁まちづくり推進課市民活動係（江刺総合支所内線 322）

	事業実施団体	事業内容	助成額
水沢区	奥州水沢颯人和太鼓乃会	和太鼓の整備	250 万円
前沢区	平小路公民館	音響機器などの整備	100 万円
衣川区	大森神楽保存会	神楽衣装、太鼓の整備	240 万円
	南股地区会	自然学習のための備品整備	240 万円
	北股地区振興会	地域の文化と音楽学習会の実施	90 万円


自然学習の備品整備


学習会の実施


和太鼓の整備


神楽衣装などの整備


音響機器などの整備



～ 地域の高齢者を支える在宅介護支援センター ～

高齢者世帯を訪問します

在宅介護支援センターでは、市の委託を受けて、高齢者の皆さんが自立して自分らしい生活ができるように支援しています。本年度も４月から、市の地域包括支援センターと連携して、高齢者世帯を中心に家庭訪問を始めています。体調や心配ごとなどについて、この機会にぜひご相談ください。

■**問い合わせ**　水沢地域包括支援センター（☎㉛ 5465）、各地域包括支援センター

【家庭訪問活動】

■**対象**　高齢者世帯

※対象者以外でも、外出が難しい場合は訪問します。お気軽にご相談ください

■**訪問時間**　午前８時半～午後５時半※１時間程度

■**活動内容**　心身や家族の状況などの聞き取り、介護保険制度や高齢者福祉サービスなどの情報提供、悩み相談など

■**その他**　在宅介護支援センターでは、電話や窓口での相談にも対応します。また、地域の集会へ出向いて介護予防教室も行っています。

訪問についての Q＆A

Q：誰が来るのですか
A：市の委託を受けた担当地区の在宅介護支援センターの職員が訪問します。福祉関係の資格もありますので、相談などにも対応します
Q：なぜ訪問するのですか
A：困っている高齢者がいるか把握するために訪問します。このため、訪問依頼がない場合でも、対象となる世帯には訪問します
Q：どんなことを聞かれますか
A：日常生活や健康状態、社会参加などを伺います。差し支えのない範囲でお答えください

■在宅介護支援センター

自治区	担当地域	名　称	電話番号
水沢	真城・姉体・黒石	福寿荘在宅介護支援センター	☎㉘ 1244
	水沢南	寿水荘在宅介護支援センター	☎㉓ 6088
	水沢と常盤の一部	市社会福祉協議会在宅介護支援センター	☎㉕ 6025
	常盤の一部、羽田	美楽会在宅介護支援センター	☎㉛ 2626
	水沢の一部、佐倉河	在宅介護支援センター水沢ホーリ	☎㉛ 8155
江刺	岩谷堂、愛宕	聖愛園在宅介護支援センター	☎㉟ 6733
	田原、藤里、伊手、稲瀬	桜つつみ在宅介護支援センター	☎㉟ 8303
	米里、玉里、梁川、広瀬	あっぷるホーム在宅介護支援センター	☎㉘ 6337
前沢	全域	まえさわ苑在宅介護支援センター	☎㊻ 7304
胆沢	全域	やまゆり荘在宅介護支援センター	☎㊻ 5111
衣川	全域	羽衣荘在宅介護支援センター	☎㊷ 3571

家族介護教室にもご参加を

在宅介護支援センターでは、介護者の負担を減らすため、介護の知識や技術を紹介する「家族介護教室」を定期的に開催しています。また、介護者の心身の安定やリフレッシュを目的とした交流会も行っています。日時や内容など、詳しくは市ホームページや新聞、チラシなどで随時ご案内します。お気軽にご参加ください。

※昨年の講座は「おむつのあて方・選び方、排泄ケアのポイント」「介護者と本人に負担の少ない介護方法」「ガーデニングの楽しみ方」など


昨年開催した「笑顔で楽しく健康運動」の様子

「協働のまちづくり」の実現に、あなたの一票をお願いします

0・4%支援事業に投票を

本年度の市民公益活動団体支援事業【0・4（オーシュウ）%支援事業】の投票が始まります。この事業は、社会的課題の解決や、より良い市民生活の実現を目的に、NPO法人やボランティア団体などが実施する事業を、市民の皆さんが投票を通じて応援する制度です。あなたの1票が「協働のまちづくり」の実現につながります。ぜひ投票をお願いします。

この事業は、市民税の0・4㌫相当額を補助金として、市民公益活動団体の事業へ交付するものです。補助金の額は、「基礎額」と、投票による「投票額」の2種類によって決定します。

選択数は最大3事業まで

今回から1世帯当たりの選択数が変更となります。従来は1世帯1事業の選択でしたが、最大3事業まで選択できるようになりました。補助金額は1世帯ごとの選択数で異なり、1票の場合は600円、2票の場合は300円、3票の場合は200円がそれぞれ投票額として補助金に反映されます。

投票の対象は14団体

投票の対象となる支援対象団体は14団体です。団体名や事業内容の詳細は本号と併せて、同事業特集号を配布しています。

掲載されている事業から、支援したい事業を選び、投票してください。投票の方法などは次のとおりです。

■投票できる人　平成24年4月1日現在で、市内に住所を有する世帯

■投票方法　特集号6ページの投票用紙に、支援したい事業の番号と必要事項を記入し、郵送または窓口に直接提出

■投票期限　6月8日㊎（当日消印有効）

■提出先　本庁まちづくり推進課（江刺総合支所3階）、水沢総合支所事務局（市役所4階）、各総合支所総務企画課、各地区センター

■受付時間　午前9時～午後5時（㊏㊐㊗を除く）

出前説明・投票会の実施

市は、地域の集会などに職員が出向き、事業の目的などについて説明を行う場、投票の場として「出前説明・投票会」を実施します。ぜひご活用ください。

■対象　おおむね市民10人以上が集まる会議、集会など

■時間　30分程度（調整可能）

■申込期限　開催を希望する日の5日前まで

■問い合わせ・申込先　本庁まちづくり推進課市民活動係（江刺総合支所内線321）

公開プレゼンテーションを開催

支援対象団体の皆さんが事業内容を発表します。発表を聞いて、その場で投票することもできます。投票用紙を持ってご参加ください。

■日時　5月19日㊏午後1時半～5時
■会場　市民活動支援センター会議室（メイプル地下1階）
■問い合わせ　本庁まちづくり推進課市民活動係（江刺総合支所内線321）



VS 木更津市



5月30日㊌は皆で体を動かそう！

チャレンジデー 2012

ことしは木更津市と対戦

初夏のイベントとして定着した「チャレンジデー」。市のことしの目標は、参加率70㌫です。対戦相手は、東京湾アクアラインで有名な千葉県木更津市に決定しました。木更津市は、人口12万9,617人のまちで、今回が初参加です。

チャレンジデーとは？

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で行われる住民参加型のスポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ自治体が、15分以上続けて運動やスポーツをした人の参加率を競います。対戦に勝利すると、対戦した自治体の庁舎メインポールに、市旗を1週間揚げることができます。

みんなで楽しく運動を

市は「週に1回スポーツをするきっかけづくり」に取り組んでいます。チャレンジデーは皆で体を動かして、ぜひ対戦に勝利しましょう。体操やウオーキングなどの軽い運動でも構いません。15分以上運動をした後に、集計センターへ電話またはファクスで報告してください。報告を受けた人数で参加率を計算します。

□**期日**　5月30日㊌午前0時～午後9時
□**場所**　家庭や学校、職場など
□**対象**　市民、市外からの通勤者や通学者など
□**イベント内容**

◆市民総参加・早朝おはよう体操
朝のラジオ体操に地域や個人で取り組みます

◆ふうせん送りでチャレンジ
地区や事業所、学校の部で対抗戦を実施し、それぞれの部門上位を表彰します

◆おうしゅうチャレンジカップ（小中学校対象）
「ふうせん送りでチャレンジ」「ダブルダッチ」「ロープ・ジャンプ・X」

◆公共スポーツ施設無料開放

※このほかにも市内で協賛イベントを開催します。詳しくは、市ホームページやチラシでお知らせします

□**当日の報告先**　集計センター（☎0120-578-228、FAX 0120-778-120）

■問い合わせ　本庁スポーツ振興課生涯スポーツ係（江刺総合支所内線342）

木更津市（きさらづし）

■人口：129,617人
■世帯数：55,220戸
■面積：138.73平方㌔㍍
■参加歴：初参加



古くから港町として栄えた千葉県木更津市は、南房総の東京湾岸にあります。「海ほたる」で有名な東京湾アクアラインで京浜地区と結ばれており、ことしオープンしたアウトレットパーク木更津が話題になりました。チャレンジデーには、市制施行70周年記念事業の一つとして初めて参加します。

奥州の春まつり

市内では4月15日に奥州前沢春まつり、4月29日に日高火防祭、5月4日江刺甚句まつりが行われました。祭りでは伝統の行事や特色のあるイベントが催され、沿道に詰め掛けた大勢の観客を楽しませていました。


1

1水沢25歳厄年連颯龍幻　2前沢42歳厄年連風雅孩龍会　3遥拝式に勢ぞろいしたはやし屋台　4水沢42歳厄年連亥仁会　5江刺25歳連琉鳳伝　6江刺42歳連煌碧会　7前沢25歳厄年連龍雅巳雄連


2


3





たくさんの輝く笑顔がありました










4


5


6


7

結 ❶ -ゆい-

～30の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～

市では、4月から地区センターと公民館を一元化し、地域活動の拠点とすることで、全市をあげた「協働のまちづくり」を本格的に推進していきます。

市内には地区センターを活動拠点とする30の地区振興会があり、それぞれの地域コミュニティ計画に基づき、特色ある事業を実施しています。

市民の皆さん自らが知恵と力を合わせて地域づくりに汗していく姿は、昔から農作業などで行われてきた「結」と同様に、地域の連帯感に通じるものがあります。

このコーナーでは「結」をタイトルに、振興会などの活動を紹介していきます。これらの活動を通して、さまざまなもの・人・地域をつなぎ、結ぶことが協働のまちづくりの第一歩です。

第1回の今回は、前沢地区連合振興会を紹介します。

前沢地区連合振興会

（白鳥・前沢南・前沢中央・前沢北・前沢東・上野原の自治振興会等で組織）

■代表者：会長　三浦　清司（せいじ）

■人　口：7,958人（男3,864人／女4,094人）　■世帯数：2,670世帯

■拠　点：前沢地区センター（前沢区字七日町裏131-1　☎FAX56 6776）

※白鳥・上野原・目呂木の各分館あり　（平成24年3月31日現在）

前沢地区は、旧前沢町のうち、昭和30年の町村合併前の前沢町にあたります。前沢地区センターを活動拠点とし、6つの住民自治組織（振興会等）、30の行政区、36の自治公民館があります。

平成21年度に実施した地区内全世帯対象のアンケートをもとに、4つの基本目標と約200の事業を地域コミュニティ計画に盛り込みました。その中で昨年度実施した事業の一部を紹介します。

■地域のお宝を再発見するツアー

自分たちの地域を実際に見て歩き、現状と課題の把握、併せて地域の自慢できる事業や資源を掘り起こしました。

平成23年10月2日に行われたお宝さがしの町探検には30人が参加。フリージャーナリストの内山二郎氏を講師に前沢中央地区内を5つのグループに分かれて実施しました。

参加者からは「埋もれた地域資源を再発見し自信を深めた」「魅力のあるまちだとあらためて感じた」との感想も。

グループごとに作成したお宝マップを元に実施可能な事業を検討し、今後、展開していく予定です。


地図を片手にお宝探しをする参加者

■高校生主役のレストランがオープン

地産地消を基本に、地元の人と食材にこだわったレストランを県立前沢高校JRC部の生徒、食生活改善推進員協議会との連携により初めてオープンしました。

当日は、66人が来店。お客様からは「ボリュームがあるのにヘルシーでおいしかった」「高校生の頑張る姿に感激した」「ぜひ続けてほしい」と好評でした。

普段接することの少ない世代間による協働事業であり、今後も定期的な開催を計画しています。


高校生による心のこもったおもてなし

■あいさつポスター作成

元気で明るく安心・安全な地域を目指し、また地元学生との世代間交流と社会経験の場として、あいさつポスターを作成しました。

作成には、県立前沢高校と市立前沢中学校の美術部の生徒7人も参加。「愛さつでみんなを笑顔に」のキャッチコピー入りのポスター300枚は、地区内に掲示され、あいさつ運動の推進に一役買っています。

市の出来事から

■岩谷堂小放課後児童クラブがオープン■



子どもたちも一緒にテープカット

岩谷堂小学校の放課後児童クラブの開所式が4月2日、児童や関係者ら約100人が出席し、同校の敷地内にある専用棟で行われました。

小沢昌記市長のあいさつに続きテープカットが行われ、新たな子どもたちの集いの場の開設を皆で祝いました。同施設はニチイ学館（本部東京都）が指定管理者となり、指導員8人で運営されます。

■いわての観光キャンペーン始まる■


園児たちがイベント列車を出迎えました

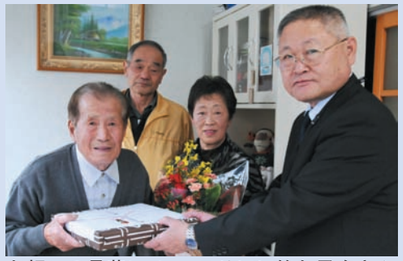
国内最大規模の大型観光企画「いわてデスティネーションキャンペーン」が4月1日、開幕しました。

水沢駅では、イベント列車の出迎えや奥州はっとの無料配布を実施。列車の乗客らは出迎えに笑顔で応えていました。同キャンペーンは6月まで開催され、県内各地でイベントが行われるほか、記念列車やSLが運行されます。

■おめでとう！百歳を祝い3人に記念品■

市は4月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

佐藤勇次さん＝江刺区伊手字荒谷＝は27歳で故・イセさんと結婚。4女をもうけ、孫6人に恵まれました。13歳から鉱山で働き始め、浜松、長野、福島などへ出稼ぎに行きました。旅行や山登りが好きで「高い山には大体登った」と語ります。お刺身とコーヒーが好物という勇次さん。長寿の秘訣は、好奇心旺盛な性格と、毎日畑へ出かけて体を動かしていることです。


お祝いの言葉に、にっこりほほ笑む勇次さん

浅沼セキさん＝江刺区伊手字新田＝は東和町に生まれ、22歳で故・義忠さんと結婚。2男1女をもうけ、孫4人、ひ孫9人に恵まれました。義忠さんが早くに亡くなり、女手1つで子どもを育てました。りんご栽培、養蚕、植林で忙しかったそうですが、子どものために自分も教科書で勉強するなど、教育にも熱心に取り組みました。お祝いの席では「夢のようです。本当にありがとう」と語りました。


お祝いの席に着物で登場したセキさん

高橋チヨエさん＝江刺区稲瀬字水先＝は金ケ崎町に生まれ、17歳で故・輝実さんと結婚。養子を迎え、孫1人、ひ孫2人に恵まれました。大所帯に嫁いだため、家事がとても大変だったそうです。裁縫や編み物が得意で、一晩に息子の紋付きはかまを2腰仕上げたこともありました。今でも繕い物をしています。長寿の秘訣は何でも食べて水分や果物をよく取ること。今はひ孫と過ごす時間が楽しみです。


記念品を受け取るチヨエさん



高さ50㌢、幅45㌢の佐々木佐五平翁坐像

水沢区 水沢火消しの祖を顕彰して

佐々木佐五平翁坐像除幕式

心字の街創造実行委員会（瀬川巖会長）は４月25日、蔵のあるポケットパークで「佐々木佐五平翁坐像」の完成除幕式を行いました。

同実行委員会では、平成21年度から旧町内を中心に、地域資源を生かした環境整備を行ってきました。今回の坐像設置は、23年度の事業として行われたものです。佐々木佐五平翁は、水沢火消しの祖として地域から顕彰されている人物で、坐像は日高火防祭の象徴の一つとなることが期待されています。

衣川区 講談で紫波町の団体と交流

紫波町の観光ガイドの会が講談修業

歴史講談サークル・奥州衣川青凜会（伊藤敏男会長）と紫波町の観光ガイドボランティア「しゃ・べーる」（久慈和子代表）の歴史講談合同稽古が４月６日、歴史ふれあい館で行われました。

約30人が参加したこの合同稽古は、昨年９月に奥州衣川青凜会の講談を聞いたしゃ・べーるが、同会に弟子入りしたことから行われたものです。壇上で練習成果を披露した参加者らは、青凜会師匠である女流講談師・宝井一凜さんの指導に熱心に耳を傾けていました。



宝井一凜さんの指導を受ける参加者

胆沢区 交通事故撲滅へ願い込めて

交通安全だるまリレー出発式

交通事故や飲酒運転の撲滅を願う交通安全だるまリレー出発式が４月８日、南都田字宇南田の交通安全地蔵尊前で行われました。

この取り組みは、各集落の代表者が無事故を祈ってだるまに署名し、次の集落へリレーするものです。市交通安全対策協議会長である小沢昌記市長が「行事を通して地域の安全意識を醸成したい」とあいさつし、小山・南都田・若柳の３地区へだるまを伝達。この日は、約1,600人が参加し、交通事故撲滅を誓いました。



出発式で伝達された交通安全だるま



願いを込め稚児装束で歩く子どもたち

前沢区 復興を願い町内を練り歩く

２年ぶりの神輿渡御・稚児行列

前沢の春の風物詩である熊野神社春季祭典の神輿渡御と稚児行列が４月８日、旧町内で行われ、幼児12人を含む総勢120人が晴天の下でまちを練り歩きました。

昨年は東日本大震災の影響で中止となったため、２年ぶりの開催となったこの行事。家内安全、五穀豊穣のほか、ことしは震災復興の願いも込めて約4.4㌔の道のりを歩きました。２時間かけて歩き通した高橋葵ちゃん（５）は「お母さんやみんなと一緒に歩いたから楽しかったよ」と笑顔を見せていました。

江刺区 市天然記念物の桜で花見会

梁川のエドヒガン「種蒔桜」さくらまつり



見事な枝ぶりで見物客を魅了する種蒔桜

梁川のエドヒガン「種蒔桜」さくらまつりが４月27日から５月２日にかけて、梁川の栗生沢集落で開催されました。

同まつりは、ことし３月30日に市の天然記念物の指定を受けた「種蒔桜」でお花見を楽しんでもらおうと梁川地域協議会（小澤祐耕会長）が主催したもの。チラシを配ったり、看板や休憩場所を設置したりして準備を進めてきました。

期間中は約400人もの見物客が訪れる盛況ぶり。江刺区愛宕から夫婦で見物に来た佐藤一晃さん（42）は「看板を見つけて立ち寄った。枝振りが良く、一本だけ立っている姿が良い」と桜の立ち姿をほれぼれと眺めていました。

水沢区 未来の科学者を育成しよう

少年少女発明クラブで開講式

水沢少年少女発明クラブ（柳田善雄会長）の開講式が４月22日、水沢南地区センターで行われました。

同クラブの目的は、児童の自由な発想を生かしたものづくりを通して、将来の科学者や技術者を育てることです。24年度は47人の小学生が入会。年間を通じて課題に取り組みます。開講式で代表者にバッチとワッペンが交付されると、児童は活動への期待に目を輝かせていました。その後、親子工作教室が行われると、磁石を使った玩具づくりに熱中していました。



協力しながら楽しく制作する参加者



大人気のミニ臼餅つき体験コーナー

胆沢区 暖かな春の陽気ににぎわい

水の郷さくらまつりイベント

市観光物産協会胆沢支部協議会が主催する水の郷さくらまつりイベントが４月28日、徳水園特設会場で行われました。

同まつりは、桜の開花に合わせて開催される恒例の行事です。園内の桜はまだ咲き始めでしたが、春の暖かな日差しの中、多数の来場者でにぎわいました。ミニ臼餅つき体験コーナーは、小さな臼と杵で実際にもちをついて試食できるとあって大人気。参加者はきな粉などをまぶした餅に舌鼓を打っていました。

つながれ広がれNPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク⑲〉

特定非営利活動法人イーティーシー

「新しい建物をつくるばかりが街づくりではない。伝統のある建物や周辺農村部の風景を残し、生かしながら街の活性化を図ることが重要」と語るのは、イーティーシーの及川純一理事長。

道路の拡幅などで伝統のある蔵が取り壊されていく中、古いものがなくなってもいいのか、という疑問から建築士会を中心に勉強会を始め、平成8年に街づくりを考える会としてイーティーシーが発足しました。

発足当時は、街づくりを実践している㈱黒船の計画を具現化するための側面支援が中心でした。蔵町モールにある黒壁ガラス館周辺の町並みはその時の成果です。その後、県内市町村から景観計画策定に関連する依頼が増えたため、責任と実行を明確にする必要があり、13年3月に特定非営利活動法人として認証を受けました。これを機に、中心商店街における町並みや伝統建造物、河川など自然資源の活用および保全による街づくりを実践することにより、街ににぎわいを取り戻すことを目的とした活動を本格化させました。

同法人の会員は現在15人。職業は、建築士や造園業、不動産業、会社員など多岐にわたります。また、事業実施にあたっては、地域住民や高校生などと協働して取り組んでいます。

蔵を巡るマップも作製

街づくりの活動としては、蔵町モールへの植栽を行うコミュニティガーデン事業や、板塀で景観を和風に統一する黒塀プロジェクトを実施。また、県立岩谷堂高校の生徒との景観学習を機に、町歩きを楽しむ「えさしの町並みまるごと楽しむ探検絵図」を作製。今年度はこのマップを使い、歩く会を計画しています。

藤里地区で地域ビジョン策定

周辺農村部での取り組みとしては、江刺区藤里の寿集落において住民と共に今後10年の地域ビジョンを策定しました。この計画に沿ってため池復活事業や遊歩道整備を行っています。今後は自然生態系に配慮した水路づくりも行う予定です。

■特定非営利活動法人イーティーシー（㈲環境造景研究所内☎㉟8617）



黒塀プロジェクトでは会員と地域住民がペンキ塗りをした。



奥州市景観計画策定のためのワークショップを運営

interview



特定非営利活動法人イーティーシー理事長

及川　純一さん（60）

まちづくりや地域づくりは、これからの地域を担っていく若い人が中心となって取り組んでいかなければと思います。自分たちがどうしたいのか、何ができるのかを考えてほしいですね。

自ら考え実践することは、達成感もあるし地域への愛着を深めることにもなります。当会はそのお手伝いをしますので気軽に参加してほしいと思います。



特定非営利活動法人イーティーシー事務局

小原　洋一さん（44）

以前は建物などハードづくりの活動が中心でしたが、最近はソフト面での支援が増えてきました。一人ではできないことでもみんなの知恵を出し合えば解決できます。

ただし専門家だけではだめ。職業や年齢にかかわらず、いろんな人に参加してほしいと思います。多くの人と出会って勉強していきたいですね。

NPO伝言板

市内のＮＰＯ活動をお知らせします。
情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎FAX㉒4200）までお問い合わせください。

●がん患者と家族の語り合いの会

日時：5月20日㈰午後1時半～4時
場所：市民活動支援センター
内容：がん患者やその家族を対象としたお話や勉強会
参加料：無料
その他：申し込み不要
問い合わせ：奥州かたくりの会（菅原☎080-1834-3188）

●手話の学習会

日時：毎週㈮午前10時～正午
場所：市民活動支援センター
内容：ろうあ者と交流しながら手話の学習
参加料：無料
その他：申し込み不要
主催：手話サークルZ
問い合わせ：市民活動支援センター（☎㉒4200）

●社会保険労務に関する相談会

日時：6月11日㈪～15日㈮午前9時～午後5時
場所：市民活動支援センター
内容：社会保険労務士による経営者、労働者を対象とした相談会
参加料：無料
その他：申し込み不要
問い合わせ：県社会保険労務士会（及川☎㉒4827）

ＮＰＯとは…市民公益活動団体のこと。ＮＰＯ法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です

子そだて広場 20

Child-nurturing plaza

おうしゅう子育てガイド→http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/kosodate/



児童の送迎も安心して任せられます

■援助活動内容の例
・保育施設への送迎
・保育施設の保育開始前や終了後の預かり
・小学生の放課後の預かり
・買い物、通院、行事、冠婚葬祭時の預かり

■利用時間・料金
【平日】
午前7時～午後7時
1時間当たり500円
【土、日、祝日】
午前7時～午後7時
1時間当たり600円
※きょうだいを同時に預ける場合は、2人目以降が半額
※次の場合は、右記の利用料金に加算があります
【規定時間外の利用】
1時間当たり100円
【病児・病後児の場合】
1時間当たり100円

■会員登録方法
お住まいの区のファミリーサポートセンターにお問い合わせください

■入会金、年会費
不要です

■問い合わせ・手続き先
【水沢区・胆沢区】
市社会福祉協議会（市総合福祉センター内☎25・6301）
【江刺区】
市社会福祉協議会江刺支所（江刺総合コミュニティセンター内☎35・8081）
【前沢区・衣川区】
市社会福祉協議会前沢支所（前沢老人福祉センター内☎56・2148）



ファミリーサポートセンターを活用しよう

市ファミリーサポートセンターでは「子育ての手助けをしてほしい」「子育てのお手伝いをしたい」という人が会員登録し、会員が相互に援助を行っています。24年3月末現在の会員数は1027人です。

同センターは、仕事で保育園の迎えに間に合わない、小学校が終わってから子どもが一人でいる時間が心配――そんな時の心強い味方です。あらかじめ会員登録をしていれば、いざという時に利用することができます。

また、子育てが一段落した人や、子どもが大好きで子育て支援をしたい人の登録も受け付けしています。ぜひ登録をお願いします。

おうしゅう Oshu 羅針盤



風薫る五月となりました。皆さんいかがお過ごしですか。

市に春の到来を告げる祭りとして、先月の前沢春まつりを皮切りに、日高火防祭、江刺甚句まつりがゴールデンウィークに開催され、その全ての祭りに参加しました。

昨年は東日本大震災のため、日高火防祭はやむなく神事のみを実施し、前沢春まつりと江刺甚句まつりは延期しての開催となりました。2年ぶりに例年どおりの開催となったこともあり、どの祭りもいつにも増して大盛況で、市の活性化につながったと思います。

日高火防祭では、厄年連の花車が初の人力となりましたが、無事運行されてほっとしています。また、江刺甚句まつりでは、2年ぶりに町内屋台が出揃いました。私もパレードに参加しただけではなく、御輿を担がせていただくなど、楽しい時間を過ごしました。

いつもの祭りをいつもどおりに開催できることを、ことしほどありがたく感じたことはありません。ご協力いただいたすべての皆さんに、心から感謝を申し上げます。

25歳と42歳の厄年連、年祝連の皆さんには、伝統的な祭りを大いに盛り上げていただきました。この大きなエネルギーを、市が発展するための原動力につなげていきたいと考えています。

さて、今月7日から市政懇談会が始まりました。「協働のまちづくり」をテーマとして、市内30カ所の地区センターを会場に開催します。自由懇談の時間もありますので、より多くの市政に対するご意見をいただけるものと期待し、皆さんの参加をお待ちしております。

奥州市長　小沢昌記

消費生活相談Q&A

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処法などを紹介します。

悪質商法被害にあわないために

Q 最近、高齢者を狙った振り込め詐欺や悪質商法が多く、不安な毎日を送っています。高齢者がトラブルに巻き込まれないように、老人クラブなどで教えてもらえませんか。

（市内60代男性）

A 市総合相談室は、市民からの相談を受けて、法律や消費生活トラブル、多重債務などの悩み解決に向けて支援を行っています。その活動の一つに、老人クラブや婦人会・自治会などを対象とした出前講座があります。

出前講座では、依頼された団体へ無料で講師を派遣し、消費生活に関する知識や悪質商法への対応策を紹介します。23年度は11回開催し、延べ420人が参加しました。水沢区の老人クラブでは「おれおれ詐欺の被害防止」をテーマに開催。警察官をかたったキャッシュカード詐欺の寸劇や、おれおれ詐欺で実際に掛かってきた電話の録音テープを公開しました。被害を防ぐポイントとして「慌てない」「相手の電話番号を聞いて、家族に確かめる」などを紹介し、参加した皆さんに防犯への理解を深めていただきました。

出前講座では、寸劇やクイズを交えて新しい事例を紹介するなど、楽しく参加できるよう工夫を凝らしています。地域やサークルの集まりなどでも、ぜひご活用ください。

（本庁市民課総合相談室）

消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おうしゅうお知らせ版の「相談窓口」をご覧ください。



わが家のアイドル

3歳未満のお子さんの写真を募集しています。71

住所、氏名（ふりがな）、生年月日、続き柄、両親の氏名（ふりがな）、電話番号を明記の上、本庁政策企画課広聴広報係へ。応募順に掲載します。



鈴木 慧（けい）ちゃん（1歳7カ月）
＝前沢区字高畑＝
（修さん・美由紀さんの長男）



髙橋 風花（ふうか）ちゃん（5カ月）
＝水沢区字上器田＝
（悠里さん・苑美さんの長女）



右：佐藤 沙希 ちゃん（1歳8カ月）
＝水沢区字多賀＝
（和樹さん・佑子さんの長女）

子ども喜ぶ人気メニュー 14

栄養士オススメ



『切り干ししょうゆ漬け』



材料（4人分）
- 切り干しダイコン……15g
- ニンジン★……20g
- キュウリ★……40g
- さきいか……10g
- A
  - 白ゴマ……5g
  - 塩昆布……5g
  - 酢……小さじ1
  - 塩……少々
  - しょうゆ……少々
  - 三温糖……小さじ1

★は奥州産食材です

作り方

① 切り干しダイコンを水で戻し、3㌢くらいの長さに切る。ニンジンは千切りにする。それぞれゆでて冷ましておく

② キュウリは千切りにして塩を振る。さきいかは細かく刻む

③ ①と②の水気を切ったら、Aを混ぜて味を調える。よく和えたら出来上がり

※切り干しダイコンは、サラダにしたり、卵焼きに入れるのもお勧めです

今月のおいしい顔



東水沢保育園のみんな

キラリ人輝く kirari 73

Interview

佐藤　玄蔵（げんぞう）さん(23)
＝江刺区広瀬＝
江刺消防署勤務



■**仕事は**―消防士です。ことしで2年目で、この4月から江刺消防署勤務になりました。消防の仕事は多岐にわたり、消防法などの法律を勉強しなくてはなりません。必要な知識を身に付けて、早く一人前になりたいです。

■**趣味**―今はフットサルに夢中です。中学校時代の友人と結成したMFC（エムエフシー）というチームに所属し、区内の体育館などで毎週1回練習しています。

■**休日の過ごし方**―ドライブですね。暇を見つけては区内巡り。消防士という仕事柄、道を覚えることを心掛けています。

■**将来の夢**―幸せいっぱいの明るい家庭を築くこと。子どもは女の子がほしいですね。

■**奥州市について**―大学の4年間を盛岡で過ごしましたが、奥州市は、住みやすいところです。地元の行事などで地区の方々と交流し、大切に感じた触れ合いの気持ちが市全体にも広がってほしいですね。また、若い人が地元に残るような魅力と活気にあふれた市になってほしいと思います。

夢トーク Talk 20

ピアニストになりたい



西丸（とりまる）　光雅（こうが）くん
（江刺区・江刺愛宕小学校６年）

Interview

小学校の児童会長をしています。いろいろな行事の計画を立てたりするのが大変だけど、やりがいがあります。この４月に、とってもかわいい１年生が入学してきました。１年生と触れ合えるのも、最後の年なので、いっぱい一緒に遊んであげたいです。

６年生の勉強では社会に興味があります。歴史上の人物がたくさん出てくるので、とてもおもしろいな。

今、僕が夢中になっているのは、２年生から始めたピアノ。お姉ちゃんと妹が先に習っていて、やってみたらおもしろいと思ったのが、始めたきっかけです。週１回のピアノ教室がとても楽しみ。

将来の夢はピアニスト。合奏が好きなので、一人だけでなくみんなが力を合わせた演奏に、聴く人が感動して、拍手をもらえたらいいな。

広 告

クラブ紹介 Club introduction 73

〈水沢商業高校女子ソフトテニス部〉



インターハイ出場を目指して

4月に山形県で開催された東北大会で、ベスト8という好成績を収めた水沢商業高校女子ソフトテニス部。テニスコートには部員たちの元気な声が響きます。

「目標はインターハイ出場です」と力強く話してくれたのは、部員13人をまとめる山内稜子（りょうこ）部長（3年）。「このチームは学年を問わず、お互いが声を掛け合い、意識を高めあっていける仲。大会まで皆の士気を高めて万全の状態で試合に臨みたい」と語ります。

顧問の日野正康先生は、「社会に通用する人間形成をモットーに指導しています。日頃の生活習慣や挨拶はもちろんのこと、他人への気配りができれば、自然とプレーが上達します」と部員の育成に余念がありません。「試合に練習の成果が発揮されている。これも部員一人一人が目標を高く持っているからです」とチームの成長を評価します。

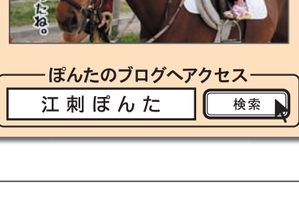
春の好成績で相手チームからも注目される立場となった同部。厳しい練習にも弱音を吐かず、コートを走り回ります。全ては夢の舞台、インターハイ出場のために。



一球一球に集中

ぽんたのつぶやき No.20

水沢競馬場で無料乗馬体験ができると聞いてやってきました！



「今日はお子さんだけです～」と乗馬の監督さん。

せっかく王子の格好で来たのに！

見かねたぽんたに女の子が声をかけてくれた。

ぽんたのブログへアクセス
江刺ぽんた　検索

広 告

おしらせ

市有財産を公売します

市は、市有財産を一般競争入札により売り払いします。詳しくはお問い合わせください。

■**入札日時**＝5月25日㊎午前10時■**場所**＝市役所2階203会議室■**物件**＝宅地■**所在地**＝水沢区東大通り一丁目90番■**地積**＝1672平方㍍■**最低売却価格**＝4500万円■**受付期限**＝5月21日㊊■**その他**＝現地説明会を5月15日㊋午前10時から実施■**問い合わせ・申込先**＝本庁財産運用課販売推進係（内線329）

特色ある地域づくり事業

市は、地域の特性を生かした魅力的な地域づくり活動に、補助金を交付します。

■**対象**＝地区センターの区域を越えて活動する次の要件を満たす団体①規約・役員・予算・事業計画を決めている②市内に居住または勤務する人を含む③代表者が成人■**対象事業**＝地域住民が参加する地域の創意工夫を生かした自主的な活動で、次のいずれかに該当する事業①地域の課題解決を図る②地域住民の一体感を醸成する③地域の魅力を高める※ほかの制度との併用は不可■**金額**＝事業に必要な経費の2分の1以内の額（1事業当たり50万円が上限）■**応募期限**＝5月25日㊎■**応募方法**＝本庁まちづくり推進課、水沢総合支所事務局、各総合支所総務企画課に備え付けの要望書（市ホームページにも掲載）に必要事項を記入し、応募先へ郵送または直接提出■**問い合わせ・応募先**＝本庁まちづくり推進課市民活動係（〒023－1192※住所記載不要、江刺総合支所内線322）

首都圏での販売活動に補助

市は、市内の小売業者などが首都圏で市特産品の物産展などの販売活動を行う場合に経費の一部を補助します。

■**対象**＝市内に住所または主たる事務所を有する小売業者■**条件**＝①公的団体が主催し、または共催する物産展・イベントへの出展②首都圏で開催③年1回の助成で1業者当たり2人以内が助成対象※ほかの制度との併用は不可■**対象経費**＝出展のための小間料、交通費、運搬費など■**金額**＝対象経費の2分の1以内の額（7万円が上限）■**申請方法**＝本庁商業観光課備え付けの申請書に必要事項を記入し、提出■**その他**＝予算額に達した時点で受付終了■**問い合わせ・申請先**＝本庁商業観光課観光物産係（内線273）

無人ヘリによる病害虫防除

病害虫から農作物を守るため、市内全域で産業用無人ヘリコプターによる麦の防除を行います。

■**期間**＝5月18日㊎～6月3日㊐※天候による変更あり■**問い合わせ**＝胆江広域無人ヘリ防除協議会（NOSAI（ノーサイ）胆江農産課内☎㉕6884）

ツキノワグマ生息数調査

県では、第3次ツキノワグマ保護管理計画の策定に向けて生息頭数を把握するため、ヘア・トラップ調査を行います。この調査は、クマ生息域の広葉樹林内にヘアトラップを設置し、採取した毛をDNA分析するものです。調査員が林野に立ち入ることがありますが、ご了承ください。

■**調査期間**＝6月～9月末■**問い合わせ**＝県環境生活部自然保護課（☎019－629－5371）

労働保険料などの申告・納付を忘れずに

労働保険料は、年度当初に概算で保険料を納付し、翌年度に確定した保険料を精算することになっています。手続きについて、詳しくはお問い合わせください。

■**申告・納付期間**＝6月1日㊎～7月10日㊋■**問い合わせ**＝岩手労働局総務部労働保険徴収室（☎019－604－3003）

保健所各種相談・検査

奥州保健所では、次のとおり相談・検査を行っています。詳しくはお問い合わせください。

■**日時**＝毎月第3㊍、午前10時～午後2時半（予約制）■**場所**＝奥州保健所■**対象**＝①エイズ相談・HIV抗体検査を希望する人②肝炎ウィルス相談・検査を希望する人③性器クラミジア相談・抗体検査を希望する人■**その他**＝事前予約が必要■**問い合わせ・予約先**＝奥州保健所（☎22－2831）

第40回奥州市謡曲大会

■**日時**＝5月27日㊐午前11時■**場所**＝前沢ふれあいセンター■**内容**＝素謡（すうたい）・仕舞（しまい）など■**入場料**＝無料■**問い合わせ**＝喜嚶会（きおうかい）（三浦☎㊺3171）

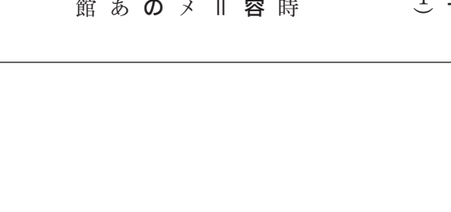
日食観望会を開催

■**日時**＝5月21日㊊午前6時半■**場所**＝宇宙遊学館■**内容**＝金環日食の観察■**参加料**＝無料■**持ち物**＝専用の観察メガネ、敷物、筆記用具■**その他**＝天候により中止の場合あり■**問い合わせ**＝宇宙遊学館（☎㉔2020）

大曲橋の車両通行止め

県道前沢東山線大曲橋の災害復旧工事のため、6月16日まで一般車両は全面通行止めとなります。ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

■**場所**　県道前沢東山線大曲橋
■**期間**　5月23日㊌～6月16日㊏
■**内容**　大曲橋左岸部踏掛版補修
■**迂回路**　藤橋または赤生津橋
■**問い合わせ**　県南広域振興局土木部（☎㉒2881）



ごみ焼却施設・最終処分場の放射能測定結果

奥州金ケ崎行政事務組合では、一般廃棄物処理施設の放射性セシウム濃度の測定を実施しました。1㎏あたりの結果は次のとおりです。

■**問い合わせ**　奥州金ケ崎行政事務組合環境施設課　☎㉔5821

【ごみ焼却施設】

測定日	4月20日	4月11日	3月21日
主灰※1	1,340㏃	600㏃	160㏃
飛灰※2	4,300㏃	6,600㏃	1,820㏃
国が示す埋め立て処分基準値 8,000ベクレル/kg			

※1…ごみの燃え殻
※2…ろ過式集じん器で捕集した排ガス中のばいじんで固化したもの

測定日	3月22日	2月27日	1月31日
排ガス	不検出	不検出	不検出

【胆江地区最終処分場】

測定日	4月11日	3月22日	3月1日
地下水（上流・下流）	不検出	不検出	不検出
下水道への放流水	23㏃	13㏃	15㏃

「農作業　笑顔の豊作　無事故から」

平成24年度岩手県農作業安全運動スローガン

毎年、農作業中の事故による死傷者が出ています。昨年市内では3件の死亡事故が発生しました。作業前に農業機械の点検や周囲の状況確認を行い、未然に事故を防ぎましょう。

広告

広告

観光地めぐりバスの運行

市内の名所をバスで巡ってみませんか。日程など、詳しくはお問い合わせください。

■**日時**＝5月20日㊐午前10時

■**運行ルート**＝衣川荘から前沢駅を経由し、江刺方面へ■**昼食場所**＝えさし藤原の郷■**参加料**＝無料※食事代、入館料は自己負担■**その他**＝事前予約不要■**問い合わせ**＝本庁商業観光課観光物産係（内線272）

募集

水道施設の見学会

市は、6月1日からの水道週間行事として、バスで行く市内水道施設の見学会を開催します。

■**日時**＝6月1日㊎午前8時半～正午■**集合場所**＝胆沢総合支所正面玄関前■**見学施設**＝①胆沢ダム学習館②胆沢ダム展望台③たんこう浄水場④若柳配水池■**参加料**＝無料■**定員**＝50人（先着順）■**応募期間**＝5月10日㊍～25日㊎■**問い合わせ・申込先**＝市水道部経営課管理係（☎㊻4904）

江戸学講座「新鐫平泉往来全」

■**日時**＝5月31日、6月21日、7月26日、8月23日、9月20日、10月25日、11月22日、12月20日、1月24日、2月21日（全て㊍、全10回）、午後1時半～3時■**場所**＝江刺生涯学習センター■**講師**＝相原康二氏（えさし郷土文化館長）■**内容**＝仙台城下から平泉までの沿道各地の名所・旧跡などを紹介した「平泉往来」を読む■**定員**＝50人（先着順）■**申込期限**＝5月29日㊋■**問い合わせ・申込先**＝江刺図書館（江刺総合支所内線661）

子ども向けお琴教室

■**期間**＝6月～25年1月（㊏㊐、全25回）■**場所**＝市文化会館（Zホール）■**対象**＝小学5年生～高校生■**定員**＝10人■**受講料**＝無料※保険料、爪代は自己負担■**申込期限**＝5月23日㊌■**その他**＝申し込み多数の場合は抽選■**問い合わせ・申込先**＝市文化遺産活用実行委員会事務局（Zホール内☎㉒6622）

布ぞうり1日製作講座

生きがいと健康づくりを目的とした高齢者向け講座を開催します。

■**日時**＝5月28日㊊、6月18日㊊午前9時半～午後3時半■**場所**＝江刺総合コミュニティセンター■**対象**＝65歳以上■**定員**＝15人■**参加費**＝1000円（材料代）■**持ち物**＝古いTシャツ4枚、裁縫道具、はさみ、洗濯ばさみ、昼食■**問い合わせ・申込先**＝市社会福祉協議会江刺支所（☎㉟8081）

自死遺族交流会

奥州保健所は、家族などの身近な人を自死（自殺）で亡くした人を対象に交流会を開催します。詳しくはお問い合わせください。

■**日時**＝7月13日㊎、9月14日㊎、11月9日㊎、平成25年1月11日㊎午前10時～11時半■**場所**＝奥州保健所■**内容**＝①同じ経験を持つ遺族同士の語り合い②ケアに関する情報提供■**問い合わせ・申込先**＝奥州保健所保健課（☎㉒2831）

岩手芸術祭テーマ

■芸術文化の創造と発展をイメージさせるテーマを募集します。

■**応募資格**＝県内在住または県出身の人■**応募方法**＝はがき、メール、ファクスで申し込む■**応募期限**＝5月31日㊍（必着）■**発表**＝6月29日にホームページに掲載するほか当選者へ直接通知■**問い合わせ・申込先**＝第65回岩手芸術祭実行委員会事務局（県文化振興事業団内、〒020-0023、盛岡市内丸13-1、☎019-654-2235、FAX019-625-3595、✉geijyutsu65@iwate-bunshin.jp　〔URL〕http://www.iwate-bunshin.jp/）

米もろみ粕成分配合せっけん利用モニター



市は、米からエタノールと米もろみ粕をつくる地域循環プロジェクトに取り組んでいます。当プロジェクトから生まれた高級せっけんの利用モニターを募集します。

■**受付日時**＝5月20日㊐～26日㊏、午前10時～午後5時

■**受付場所**＝みんこみんか（水沢区大町）

■**要件**＝せっけんについて説明を受けて、アンケート用紙、返信用封筒を受け取り、回答期限までに返送する

■**回答期限**＝6月25日㊊

■**配布数**＝1世帯に1個まで（先着順で200個限定）

■**問い合わせ**＝みんこみんか（☎㊼4433）

【市民劇】～後藤寿庵物語～ スタッフ・キャスト募集

後藤寿庵福原就封400年を記念し、10月14日、15日に公演する市民劇～後藤寿庵物語～「木洩れ日のように」のスタッフとキャストを募集します。

■**募集キャスト**＝一般、子役、エキストラ

■**募集スタッフ**＝美術、大道具、小道具、衣装、化粧、音響、効果、照明、映像、舞台スタッフほか

■**対象**＝市内に在住または通学・勤務する人、市内出身者

■**稽古日**＝7月1日から10月13日までの㊏㊐

■**稽古場所**＝水沢南地区センター

■**応募方法**＝申込先に備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、ファクスまたは直接窓口に提出

■**応募期限**＝6月11日㊊

■**問い合わせ・申込先**＝後藤寿庵福原就封400年事業・市民劇上演実行委員会事務局（水沢南地区センター内、〒023-0854、水沢区大鐘町2-12、☎FAX㉕7990）

奥州 広報おうしゅう
2012 Vol.75 5

■問い合わせ
奥州市役所（本庁）☎㉔2111
（〒023-8501　岩手県奥州市水沢区大手町一丁目1番地）
水沢総合支所　☎㉔2111
江刺総合支所　☎㉟2111
前沢総合支所　☎㊱2111
胆沢総合支所　☎㊻2111
衣川総合支所　☎㊷3111

■公式ホームページ
http://www.city.oshu.iwate.jp

■市政ラジオ「おうしゅう伝言板」
○放送局：奥州エフエム放送（77.8MHz）
○放送日時：月曜日から金曜日。午前8時15分、午後0時15分、午後5時54分の3回放送
※災害発生時には、随時、災害情報を提供します

■編集後記

▼4月から広報編集をしています。よろしくお願いします。私のほかにも新人広報マンがいます。先日、冬を越えて開通する国道397号除雪作業の取材に2人で行きました。私は長靴、彼は革靴で・・・。早く取材慣れしたいものです。（海）

▼革靴の新人広報マンです。よろしくお願いします。先日、クラブ紹介のコーナーの取材で学校を訪れた際、「こんにちは」と、すれ違う生徒から元気な挨拶。礼儀正しく、とても嬉しい一言にエネルギーをいただきました。若いっていいな。（丙）

広告

広告

□発行日／5月10日　□発行／奥州市　〒023－8501 奥州市水沢区大手町1－1　□電話／0197－24－2111　□編集／総務企画部政策企画課　□印刷／あべ印刷㈱



豊富な雪解け水の恩恵を受けて咲き誇るミズバショウ

Oshu Heritage

奥州遺産 No.20

～ときを越え受け継がれるもの～

馬留（うまどめ）湿地

＝胆沢区若柳字馬留＝

胆沢ダム学習館前の道路を挟んで南側に位置する馬留湿地。雪の残るひめかゆスキー場を背に、その雪解け水の流れに沿ってミズバショウが咲き誇る。

胆沢ダムの工事により、平成5年に馬留集落が移転。自生していたミズバショウは群生地を形成した。12年から環境調査が行われ、多様な植物や貴重な昆虫、両生類の生息を確認。特にトンボ類は35種が生息しており、豊かな自然を現在に残す。

中央に整備された木道を進むと、両側には厳しい冬を乗り越えたミズバショウが可憐に立ち並ぶ。白雪に替わり開いた純白の苞（ほう）は、緑の葉と鮮やかなコントラストを見せる。耳を澄ませば、春の訪れを告げる鶯の声が響く。

柔らかな春の日差しを受けるミズバショウ。山あいのそよ風に揺れるその姿は、見る者を清廉な気持ちへといざなう。

広告

VEGETABLE OIL INK
※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約 26 円です。】